

必読! 風水害対策

問合せ 防災安全課防災・危機管理係(内)207

大型台風の上陸やゲリラ豪雨などにより、各地で大きな被害が発生しています。台風は進路や大きさなどを事前に予測できるため、被害を最小限に抑えることが可能です。正しい知識を持ち、焦らず行動するために、日頃から非常時の行動などについて確認しておきましょう。

1 事前の備え

① 雨や風が強くなる前に家の内外の対策をしよう

- 日頃から樹木の剪定などをしておく。
- 窓や雨戸のカギをしつかりかけ、必要に応じて補強する。
- 万一の飛来物に備えて、窓ガラスに飛散防止フィルムを貼ったり、カーテンやブラインドを閉めておく。
- 風で飛びそうな物は、家の中にしまう。



▲増水した多摩川の様子

② 持ち物を用意しよう

非常用持出袋を用意して、必要な物はすぐに持ち出せるようにしておきましょう。食糧などの備蓄品は賞味期限などをこまめに確認し、ローリングストック※を行いましよう。※ローリングストック：普段から少し多めに食糧などを買っておき、使ったら使った分を買い足すことで、常に一定量の食糧を備蓄しておく方法

③ 普段から確認しておこう

自宅が洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域などに該当しているか「防災マップはむら（ハザードマップ）」を事前に確認し、昨年9月に全戸配布した「東京マイ・タイムライン」を活用して、どの状況になったらどう行動するかをあらかじめ決めておきましょう。「避難」とは、「難」を「避」けることです。避難先は避難所だけでなく、安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。「防災マップはむら」や「東京マイ・タイムライン」は市役所2階防災安全課で配布しています。

非常時の持ち物リスト

- 食糧（飲料水や粉ミルクなどを含む）※人数×3日分が目安
- 常備薬や救急医薬品など
- 現金（小銭も）や印鑑、預金通帳など
- 下着などの衣料品やタオル、寝袋、紙おむつ・生理用品など日常生活に必要な消耗品など
- ナイフや缶切、水筒など
- 懐中電灯やラジオおよびそれらに使用する電池など
- 携帯電話・スマートフォンの充電器やモバイルバッテリーなど
- 防災頭巾やヘルメット、予備の眼鏡など
- マスクや除菌ウェットシートなど（感染症予防グッズ）

④ 気象・河川情報などを収集しよう

避難の準備や開始などを決める目安となるので、情報収集は重要です。

防災情報は次のような方法でお知らせします



▲東京マイタイムライン

気象・河川情報

- ◀ 気象庁ウェブサイト
- ▶ 気象庁天気予報サービス

※ほかにも「東京アメッシュ」「国土交通省防災情報センター」「国土交通省京浜河川事務所」「東

2 警戒レベルに応じた行動をしよう!

警戒レベルとは、集中豪雨や台風などによって、水害などが発生する恐れがあるとき、どの情報をする

もにどのよう行動をとるべきか状況に応じて判断できるように、災害発生の危険度と住民が取るべき行動を5段階で表したものです。災害対策基本法が一部改正され、市区町村が発令する避難情報を変更となりました。

避難指示で必ず避難

避難勧告は廃止になりました

警戒レベル	新たな避難情報など	これまでの避難情報等
5	災害発生または切迫 緊急安全確保※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
4	災害のおそれ高い 避難指示※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	災害のおそれあり 高齢者等避難※3	避難準備・高齢者等避難開始
2	気象状況悪化 大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれあり 早期注意情報(気象庁)	早期注意情報(気象庁)

※1 警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されます。
 ※3 警戒レベル3は、高齢の方以外も必要に応じ普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

変更点

◆警戒レベル3（避難に時間がかかる方は危険な場所から避難）

【避難準備・高齢者等避難開始】から【高齢者等避難】へ

警戒レベル3の「高齢者等避難」は、これまでの「避難準備」から対象をより明確にし、高齢の方や障害のある方など、避難に時間を要する方に早めの避難を強く促します。

それ以外の方も、危険を感じたら自主的な避難を始める段階です。

◆警戒レベル4（避難指示で危険な場所から全員避難）

【避難勧告・避難指示】から【避難指示】へ

警戒レベル4は、これまでであった「避難勧告」が廃止され、「避難指示」に一本化されました。逃げ遅れをなくすために、「避難指示」のうちに、危険な場所にいる人は全員避難しましょう。

◆警戒レベル5（すでに安全な避難ができず命が危険な状況）

【災害発生情報】から【緊急安全確保】へ

京都水防災総合情報システムなどのウェブサイトから気象・河川情報を収集することができます。

市内の情報

- ▶ 市公式サイト
- ▶ Twitter 羽村市公式アカウント
- ▶ 土のうステーション
- ▶ 羽村市メール配信サービス

※羽村市メール配信サービスは登録が必要です。

「災害発生情報」から、災害発生にかかわらず命の危険が迫っていることを知らせる「緊急安全確保」に変更されました。すでに安全な避難ができず、命が危険な状況になっているため、建物の2階以上への移動や、崖から離れるなど、少しでも安全な場所を命を守る行動を取ることが必要です。